

# カーボンオフセットとは

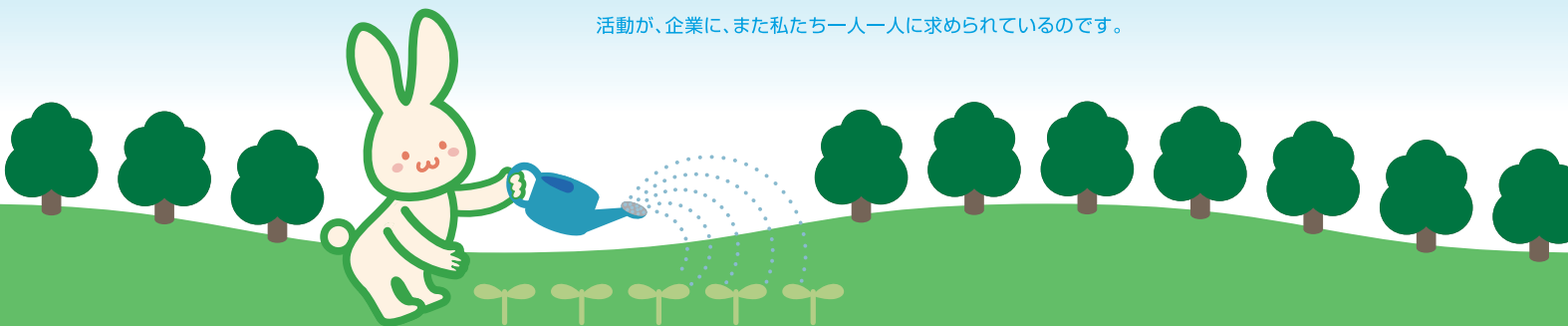


## なぜ、CO<sub>2</sub>を減らすの？

CO<sub>2</sub>(=二酸化炭素)は「温室効果ガス」の一つ。太陽によって暖められた地表から出る熱の一部を吸収・再放射し、地球を暖めています。(吸収されなかった熱は宇宙に放出されます。)

しかし近年は、石油や石炭などを大量に燃やして使用したことにより、大気中のCO<sub>2</sub>濃度が急激に増加し、地表の温度が上昇(=地球温暖化)。これにより、海面の上昇、豪雨などの異常気象、気候の変化による生態系の崩壊、食料不足、健康被害などを引き起こす恐れがあります。

この「地球温暖化」を防ぐため、全世界でCO<sub>2</sub>の削減が求められています。2008年からは、京都議定書で決めたCO<sub>2</sub>削減期間がスタート。国内では「2020年までに25%のCO<sub>2</sub>削減」という方針が発表されました。これからは関心を持つだけでなく、実際にCO<sub>2</sub>がどのくらい減ったか、ちゃんと数字に現れる活動が、企業に、また私たち一人一人に求められているのです。



「カーボンオフセット」とは、  
「ある場所ですてしまったCO<sub>2</sub>を、他の場所で行われるCO<sub>2</sub>削減活動によって埋め合わせる」制度のことです。

CO<sub>2</sub>を減らす努力をすることはとても大事です。  
しかし、どんなに努力をしても、私たちが生きていく上でCO<sub>2</sub>は必ず出てしまいます。  
そのCO<sub>2</sub>は、地球のどこから出ても温暖化を促進。  
逆に、地球のどこでCO<sub>2</sub>を減らしても、それは地球全体にいい影響を与えます。  
そこで、ある場所ですてしまったCO<sub>2</sub>を  
他の場所で行われるCO<sub>2</sub>削減活動によって埋め合わせる  
「カーボンオフセット」が、今大きな注目を集めています。

何もしなければ大気中に出してしまうCO<sub>2</sub>などの温室効果ガスを、様々な方法で削減した場合、その削減した分が「排出権」となります。  
その「排出権」を購入(=経済的投資)することで、CO<sub>2</sub>の埋め合わせ、つまりカーボンオフセットが可能になるのです。

